

国際文化交流の実績

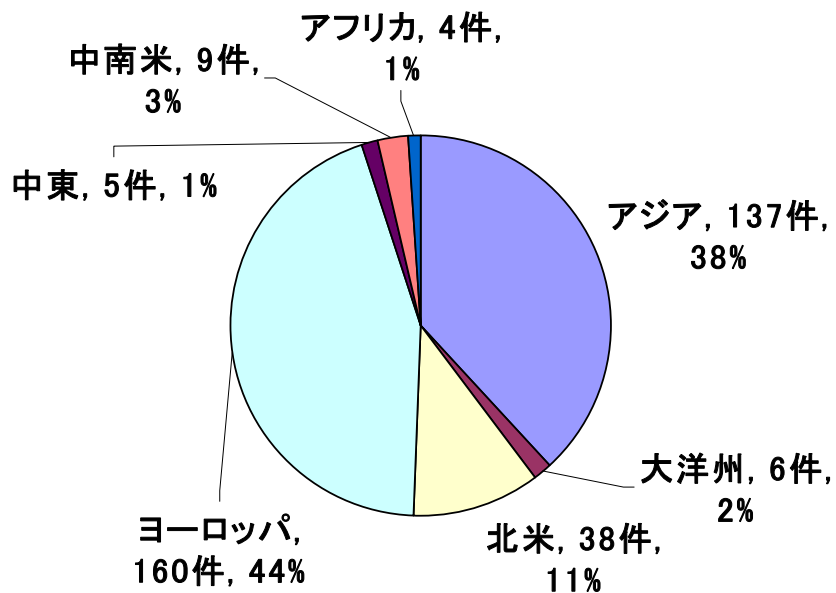
- (1) 舞台芸術交流実績
- (2) 映画の交流実績
- (3) 文化財保護協力実績
- (4) 人物交流実績
- (5) 海外展・国内展
- (6) 博物館交流実績
- (7) 姉妹都市数
- (8) 民間交流の事例

○国際文化交流の実績

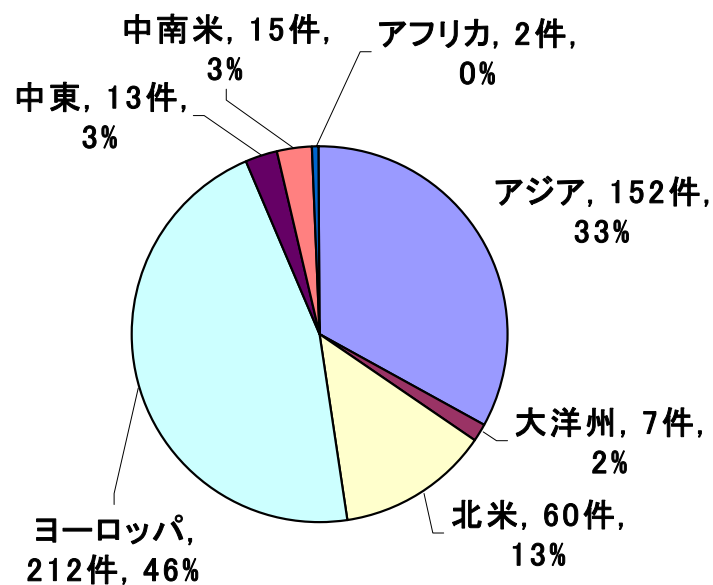
(1) 舞台芸術交流実績

- 我が国から外国に行った団体の**4割弱**がアジア地域で公演を実施
- 我が国で公演を行った外国団体の**1／3**がアジア地域からの団体

民間団体による海外公演実績(2007年)



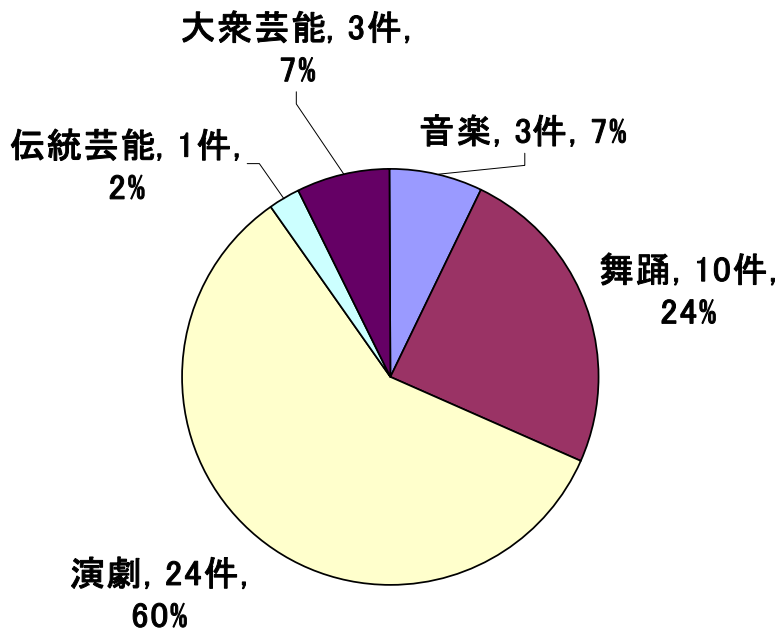
民間団体による来日公演実績(2007年)



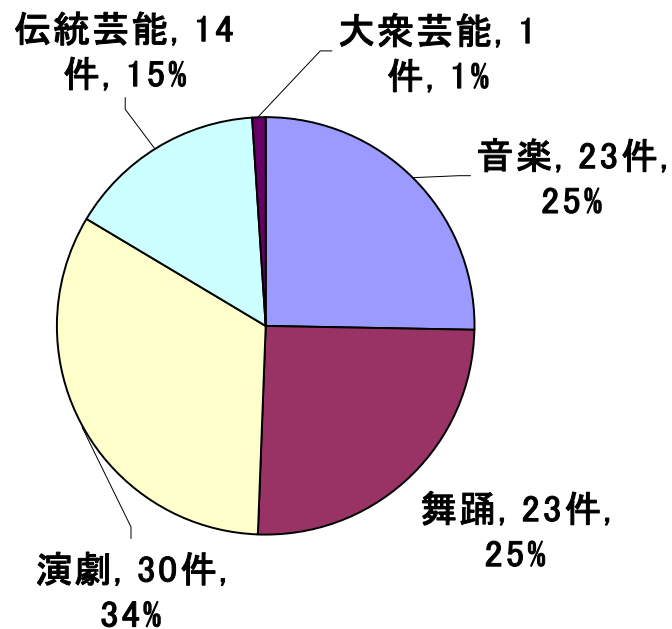
「舞台芸術交流年鑑」より

●文化庁よりアジア諸国に派遣する舞台芸術では、演劇や舞踊が多く
 伝統芸能は少ない(対欧州の場合、伝統芸能が一定数存在)。

文化庁国際芸術交流支援事業による派遣実績(2009年度)



アジア

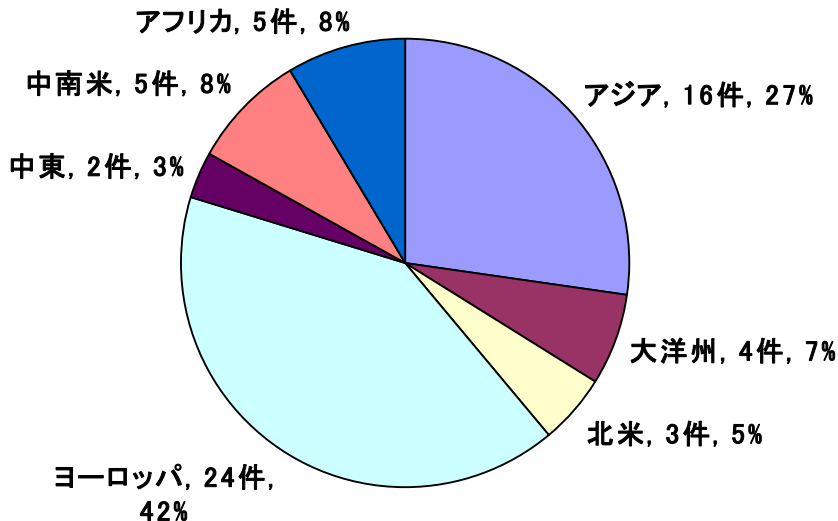


ヨーロッパ

(2) 映画の交流実績

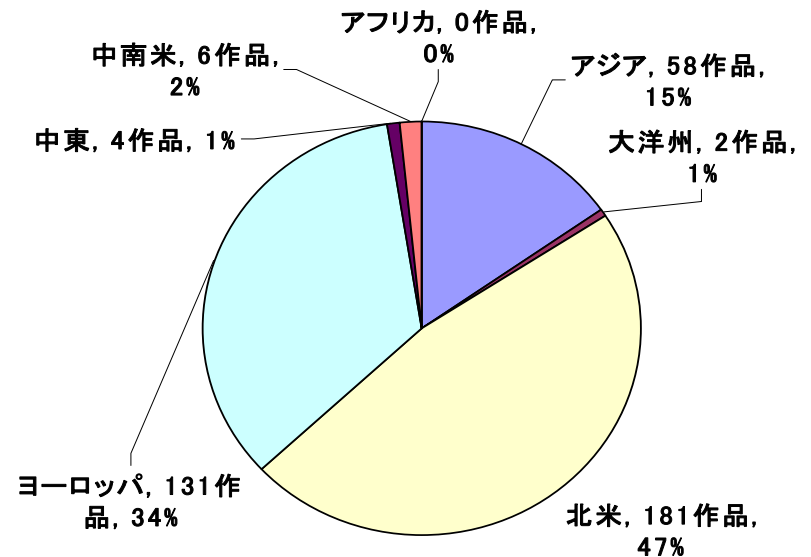
- 国際交流基金及び文化庁による日本映画の外国での上映会は、**4割がヨーロッパ**で実施。**アジアでの実施は3割弱**。
- 日本において上映された外国映画は**北米とヨーロッパ作品が8割**を占めている。**アジア作品は全体の15パーセント**。

日本映画の外国での上映会実績(2009年)



国際交流基金HP及び文化庁調べ

日本における外国映画上映実績(2009年)



(社)外国映画輸入配給協会「外画概況国別一覧表」より

(3)文化財保護協力実績

●文化財保護の分野では有形、無形双方の分野で**東アジア各国と緊密な連携**が図られている。

○アジア太平洋地域世界遺産等文化財保護協力推進事業

集団研修・個人研修によるアジア太平洋地域からの招へい実績(2000年～2009年)
183名(ベトナム15名、カンボジア14名、中国10名、韓国9名など)

○無形文化遺産保護パートナーシッププログラム

集団研修によるアジア太平洋地域からの招へい実績(2008年～2009年)
71名(スリランカ5名、ブータン5名、カンボジア4名、タイ4名、ベトナム4名など)

○東アジア文化遺産ネットワーク会議(NEACH)

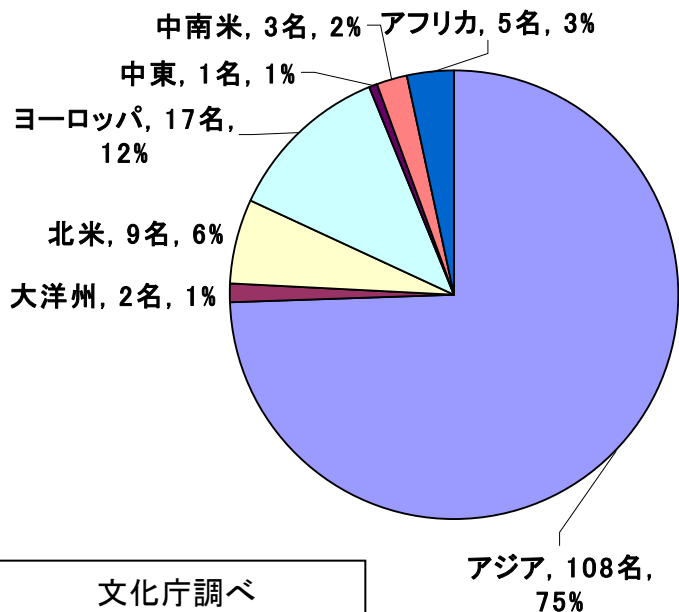
ASEAN+3地域における文化遺産分野の地域協力を推進するための会合を実施
過去5回開催(第1回:2005年タイ、第2回:2006年中国、第3回:2007年ミャンマー、
第4回:2008年マレーシア、第5回:2009年日本)

(4) 人物交流実績

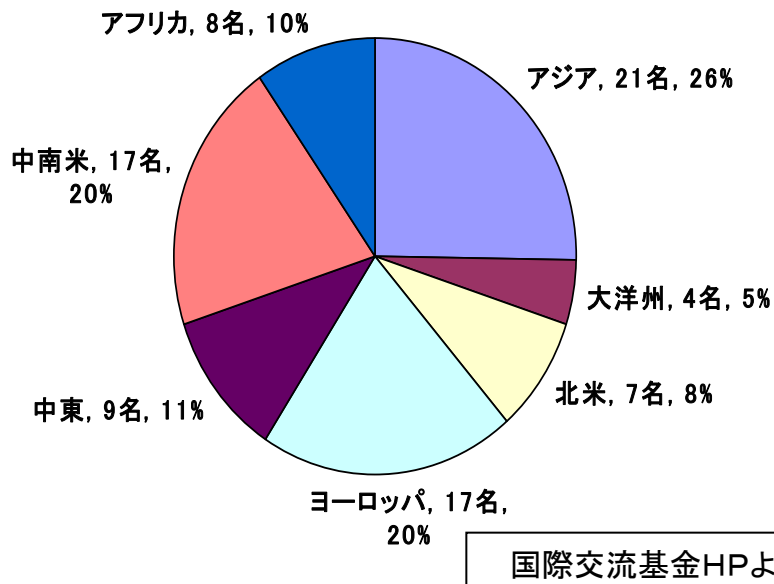
(イ) 招へい

- 文化庁では過去3年間に**145人**の外国人芸術家や文化関係の専門家等を招へいしており、うち、**アジア地域から108名**を招へい(著作権関係者69名、文化財関係者19名、美術館博物館関係者7名など)
- 国際交流基金の招へいでは過去3年間**83名**の招へいのうち、**アジア地域から21名**を招へい。

文化庁による招へい実績(2007~2009年度)



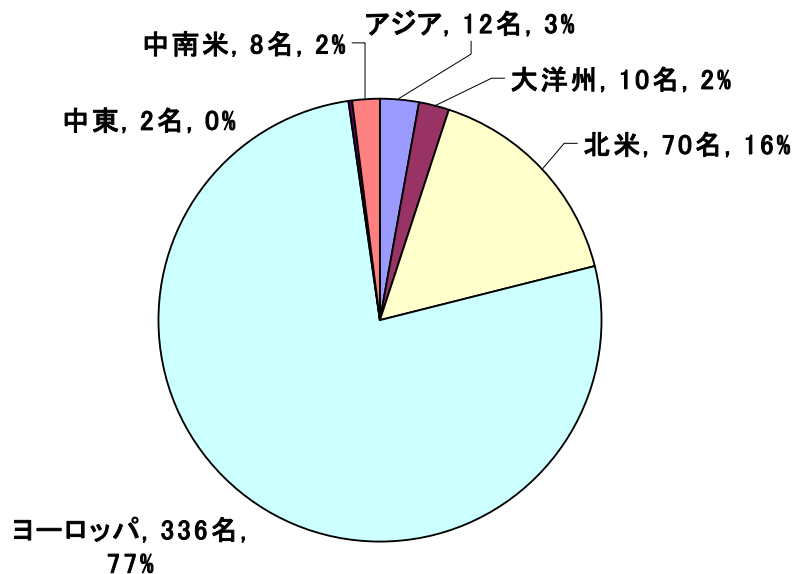
国際交流基金 文化人招へい実績(2007~2009年)



(口) 派遣

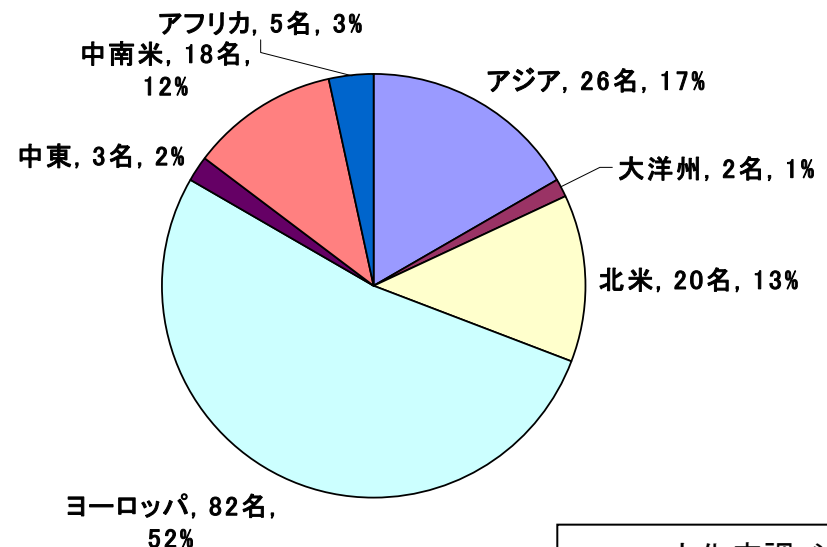
- 文化庁の新進芸術家海外研修制度では過去3年間に**438名**を派遣しており、**アジア地域には12名**を派遣（分野は演劇、メディア芸術、アートマネジメント、彫刻、映画、鑄造）
- 文化庁の文化交流使事業では、2003年の事業開始後、延べ**156**の個人・団体を派遣しており、**アジア地域には延べ26**の個人・団体を派遣。

文化庁の新進芸術家海外研修制度実績
(2007～2009年)



文化庁調べ

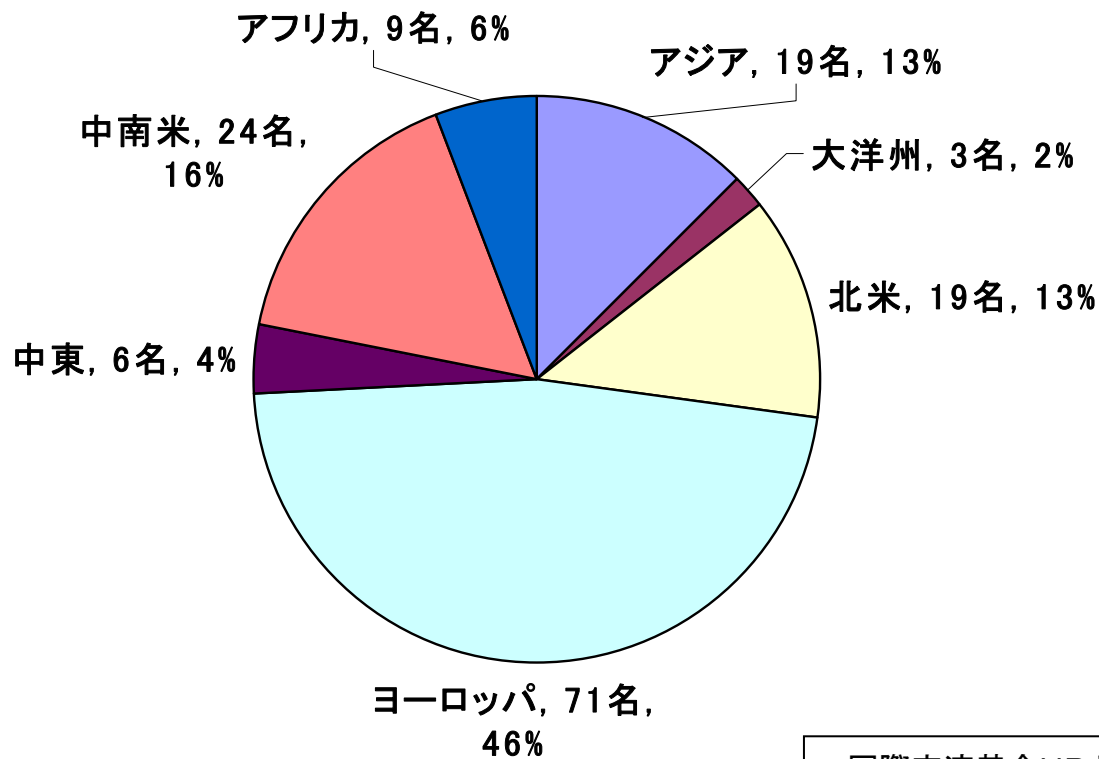
文化庁の文化交流使事業派遣実績(2003～2009年度)



文化庁調べ 6

- 国際交流基金の日本文化紹介派遣では、過去3年間で延べ**151名**を派遣しており、**アジア地域には延べ19名**を派遣（分野は「からくり」「金属工芸」「陶芸」「カルタ」「武道」「将棋」「折り紙」「ダンス」「奇術」「写真」）

国際交流基金 日本文化紹介派遣事業実績(2007～2009年)



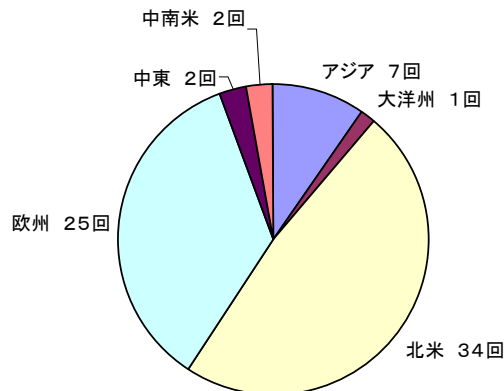
国際交流基金HPより

(5) 海外展・国内展

●文化庁主催海外展は過去**71回中アジア地域で7回**開催。

アジアで開催された海外展

1997年:タイ、マレーシア
1999年:フィリピン
2001年:中国
2002年:韓国
2004年:中国
2006年:シンガポール



●国立博物館・美術館で過去3年間に開催された**43件の特別展中、アジア関連は8件。**

国立博物館・美術館で開催されたアジア関係特別展

東京国立博物館:「染付ー藍が彩るアジアの器」「悠久の美 中国国家博物館名品展」
九州国立博物館:「聖地チベットーポタラ宮と天空の至宝」
奈良国立博物館:「天馬ーシルクロードを翔ける夢の馬」
国立新美術館及び国立国際美術館:「アヴァンギャルド・チャイナー<中国当代美術>二十年」

(6) 博物館交流実績

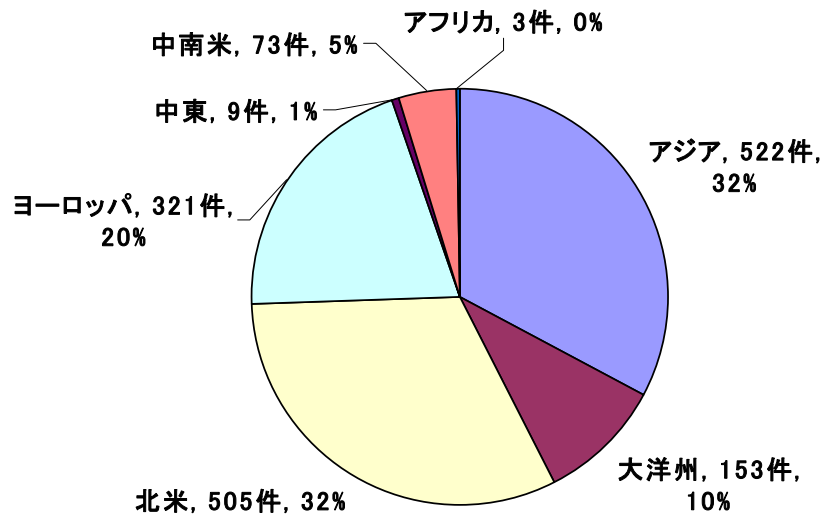
- 博物館関係では、政府レベル、館レベル、研究者レベルの各段階において、**アジア諸国との交流が活発に展開。**

- ・2004年10月：ICOMソウル大会
- ・2006年 9月：第1回日中韓国立博物館長会議(ソウル)
第1回アジア美術館長会議(北京)
- ・2007年10月：アジア国立博物館協会(ANMA)設立(ソウル)
- ・2008年11月：第3回日中韓国立博物館長会議(東京)
第3回アジア美術館長会議(東京)
- ・2008年12月：寧波国際博物館フォーラム「寧波宣言」
- ・2009年 2月：日中韓博物館円卓会議(東京)
5月：韓国博物館大会(100周年記念)
10月：第4回日中韓国立博物館長会議(東京)
第2回ANMA大会(東京)
アジア博物館研究集会(東京・九州)
12月：ICOM-ASPAC(東京)
- ・2010年11月：ICOM上海大会

(7) 姉妹都市数

●地方公共団体が**姉妹都市協定を締結する先はアジアが1番多い。**

姉妹都市提携実績 (2010年2月28日現在)



(財)自治体国際化協会HPより

【アジアとの姉妹都市例】

岐阜県各務原市:韓国春川(しゅんせん)市

合唱団交流、伝統芸能公演に係る派遣や招へい事業を実施。2004年には、「冬のソナタ」を題材にしたイベントを開催。韓国のパントマイム、伝統舞踊、国楽の公演等の実施とともに市民の交流会を開催することで、市民レベルの交流を促進。

高知県高知市:中国蕪湖(ぶこ)市

両市の書家による「日中友好書道交流展」を2年ごとに両市で開催。

京都府:インドネシアジョクジャカルタ特別区

震災復興支援に向けた文化財修復・町並み回復を支援するため、京都府の文化財技師等を派遣し、文化財復興の技術を移転し、自力復興を支援。

(財)自治体国際化協会HPより

(8) 民間交流の事例(アニメ・マンガ)

(「各国における分野ごとの日本に対するイメージ」知的財産戦略本部コンテンツ・日本ブランド専門調査会(第5回)資料に基づき文化庁にて作成)

中国

日本アニメの売り上げシェアが63.5%(2004年)

韓国

日本マンガの売り上げシェアが62.4%(2005年)

タイ

日本のアニメは全国放映されている
日本マンガが85~90%のシェア

フィリピン

アニメ人気は非常に高く複数の局で多数放映。他方、日本マンガのフィリピン語訳はほとんどない。

ベトナム

ドラえもんが有名だが、アニメの放映回数は少ない

マレーシア

全ての民放局がアニメを放映、うち70%は日本アニメ

インドネシア

一般のテレビ局で日本アニメの放映あり

(8) 民間交流の事例(映画)

(「各国における分野ごとの日本に対するイメージ」知的財産戦略本部コンテンツ・日本ブランド専門調査会(第5回)資料に基づき文化庁にて作成)

中国

日本映画の上映は年間1本程度
(外国映画の公開制限故)

韓国

年30本近い日本映画が毎年公開

タイ

2006年の公開映画314作品中、
29作品が日本映画

フィリピン

売れ筋映画は韓国映画と米国映画

ベトナム

日本映画が放映されることは稀(韓国映画とアメリカ映画が大半)

インドネシア

商業映画館で上映される日本映画はほとんど皆無

Copyright Reserved.

(8) 民間交流の事例(日本食)

(「各国における分野ごとの日本に対するイメージ」知的財産戦略本部コンテンツ・日本ブランド専門調査会(第5回)資料及び農林水産省海外日本食レストラン推奨に関する有識者会議資料に基づき文化庁にて作成)

中国

2002年以降、日本食レストランが急速に増加。日本で調理経験を経た中国人が経営する日本料理店も徐々に増えつつある。

タイ

高級志向から庶民を対象としたものまでバリエーションに富むレストランがあり、**日本食は定着の段階**(レストラン数はタイ全土で840店、バンコクに625店と推計)

マレーシア

日本人料理人がいるオーセンティックな日本料理屋からマレーシア人の嗜好に合わせた日本風レストランまで**日本食を提供する場は豊富**。

シンガポール

日本食レストランが1990年代後半から急増。最近では高級レストランだけでなく、フードコートや屋台の多くに日本食コーナーがある。

ベトナム

ハノイ・ホーチミンなど日本人駐在員が多い地区では日本食レストランが多く、触れる機会はある。

インドネシア

インドネシアでは、ジャカルタなどの大都市では日本食レストランも多数存在するが、地方の小規模都市では日本食はあまりなじみがない。食材は非常に高価。

Copyright Reserved